



世界各国の生徒と交流深める

地学

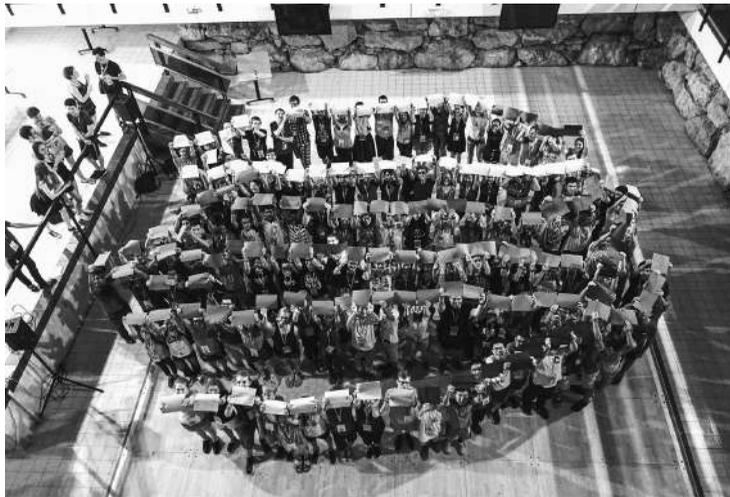
国際地学オリンピック（通称 IESO・International Earth Science Olympiad）には、世界各国から参加する代表選手が個人でメダルを競う筆記および実技試験がありますが、それとは別に、グループで行う活動に特色があります。

代表選手は大会期間中に、それぞれ別の国の生徒と4～5人の国際チームを組んで、「ITFI（国際チームファイールド調査）」と「ESP（地球システムプロジェクト）」と呼ばれる二つの活動に取り組みます。

ITFIでは、現地で与えられた課題について、メンバ

ーで協力して野外調査を行い、データを収集・議論しながら、最後にプレゼンテーションを行います。2019（令和元）年の韓国大会では、

白亜紀の地層の観察や、そこに残された恐竜の足跡化石などから、当時の環境や地史を推定する課題が与えられました。



まとめて発表をします。実際の国際社会においても、複雑な環境問題・社会問題を解決するためには個人の力では限界があり、さまざまな人々と協力をしながら取り組む必要があります。

ESPでは、地球システムに関連した環境問題などのテーマが与えられ、インターネットやデータベースのデータを収集し、調査結果や今後に向けた提言などをポスターに

2024（令和6）年度の IESO に向けた国内予選は9月から募集が始まり、1次予選が12月にオンラインで実施されます。世界の地学好きの生徒との交流を目指して、皆さんのチャレンジを待っています！。

IESO フランス大会（2017年）の際、参加した生徒たちで大会のロゴマークを表現した

（澤口隆・特定非営利活動法人地学オリンピック日本委員会・事務局長）